



シティライフは今年で30周年を迎えます

30 anniversary City Life Archives

シティライフ創刊30年記念企画

北摂の歴史記録

現在、そして未来にもつながる過去の情報を取材、編集し、記録する特集です。北摂の歴史から、私たちの住むまちの魅力を学び知る機会になればと思います。第14回は30周年を記念して「情報紙シティライフのアーカイブズ」について紹介します。

シティライフ アーカイブズ

第14回

情報紙シティライフのアーカイブズ

紙面とイベントで、北摂の街を元気に

紙面でリサイクル

1986年(昭和61年)6月3日、茨木市高槻市・島本町を配布エリアとする無料の情報紙を創刊しました。タイトルは「リサイクラー(For city life)」。

紙面でのリサイクル

個人のリサイクル情報は掲載無料で、創刊号発行の後、編集部には掲載を希望するハガキが多数寄せられました。

紙面のカラー化

それまで2色刷りだったシティライフ紙面に、カラーページが登場したのは1991年。この頃から街のグルメ情報が増え、シティライフをチェックして、おいしいお店を探す読者が増えました。

紙面のカラー化

それまで2色刷りだったシティライフ紙面に、カラーページが登場したのは1991年。この頃から街のグルメ情報が増え、シティライフをチェックして、おいしいお店を探す読者が増えました。

紙面のカラー化

それまで2色刷りだったシティライフ紙面に、カラーページが登場したのは1991年。この頃から街のグルメ情報が増え、シティライフをチェックして、おいしいお店を探す読者が増えました。

発行部数は5万5千部、タブロイドサイズの4ページ立てでメインの情報紙は「売ります・買います・あげます」といったリサイクル情報でした。衣服や家電など、不要になった人から、それらを必要とする人へ。捨てられずに新たに活用されることで、ムダのない循環型の暮らしを提案するものでした。

ガレージセール

1987年3月、紙面だけではなく、実際に売りたい人と買いたい人が商品を介してコミュニケーションがとれる新たな企画がスタート。それは1986年7月に茨木市中津町「ロハスフェスタ」へとつながる、原点とも言うべきイベントとなりました。

ガレージセール

1987年3月に初開催されたジャスコ新茨木店でのガレージセール。古着や未使用の食器などが人気を集めた。

ガレージセール

1987年3月に初開催されたジャスコ新茨木店でのガレージセール。古着や未使用の食器などが人気を集めた。

ガレージセール

1987年3月に初開催されたジャスコ新茨木店でのガレージセール。古着や未使用の食器などが人気を集めた。



(上)創刊号。(右)リサイクラーvol.2(1986年6月17日発行)の表紙は、茨木の街をイラストマップ化。JR茨木駅は、まだ国鉄茨木駅と表記されている(民営化は1987年4月1日より)。



1987年3月に初開催されたジャスコ新茨木店でのガレージセール。古着や未使用の食器などが人気を集めた。

紙面のカラー化

それまで2色刷りだったシティライフ紙面に、カラーページが登場したのは1987年8月。この頃から街のグルメ情報が増え、シティライフをチェックして、おいしいお店を探す読者が増えました。

紙面のカラー化

それまで2色刷りだったシティライフ紙面に、カラーページが登場したのは1987年8月。この頃から街のグルメ情報が増え、シティライフをチェックして、おいしいお店を探す読者が増えました。

紙面のカラー化

それまで2色刷りだったシティライフ紙面に、カラーページが登場したのは1987年8月。この頃から街のグルメ情報が増え、シティライフをチェックして、おいしいお店を探す読者が増えました。

紙面のカラー化

それまで2色刷りだったシティライフ紙面に、カラーページが登場したのは1987年8月。この頃から街のグルメ情報が増え、シティライフをチェックして、おいしいお店を探す読者が増えました。

シティライフ発行のムック本 (一例)



北摂にゆかりのある文化人、著名人に伺ったシティライフインタビューを再編集した「北摂とびっぴり109人」をはじめ、住まいづくりの実例集「北摂の暮らしかた」までジャンルも多彩に。



2007年10月に行われた第3回ロハスフェスタの様相。第1回は下の広場のみ、第2、3回は上の広場、下の広場と東大路で開催していたため、鉄鋼館(現・EXPO'70パビリオン)が左側に見えます。木々の向こうにはエキスポランドの観覧車の風景も。第4回からはさらに広い東の広場に移りました。

情報紙シティライフの30年

1986年	6月、シティライフの前身「リサイクラー」を創刊
1987年	「リサイクラー」から「シティライフ」へ名称変更 発行部数10万部
1991年	シティライフ紙面のカラー化
1993年	9月号で創刊100号 発行部数16万部
1995年	「阪神淡路大震災」発生 チャリティガレージセール「GAZA in 万博」開催 発行部数20万部に
2003年	北摂WEST版(吹田・箕面・豊中)を創刊
2006年	第1回ロハスフェスタ開催
2011年	東日本大震災発生 支援活動の一環として 元気を応援する本「next」発行
2016年	6月3日、創刊30周年を迎える



2010年2月からは住まいづくりの情報誌「Life+ (ライフプラス)」も季刊で発行しています。

現在は3版49万部発行

2003年3月には、それまで1版だったシティライフの配布エリアを西に広げ、北摂WEST版(吹田・豊中・箕面)を創刊。2006年には、阪神間にも進出。現在は神戸市内も含めた阪戸市東灘区・灘区・中央区)と、北摂EAST版(高槻・茨木・摂津)の3版を発行しています。

紙面のカラー化

それまで2色刷りだったシティライフ紙面に、カラーページが登場したのは1987年8月。この頃から街のグルメ情報が増え、シティライフをチェックして、おいしいお店を探す読者が増えました。

紙面のカラー化

それまで2色刷りだったシティライフ紙面に、カラーページが登場したのは1987年8月。この頃から街のグルメ情報が増え、シティライフをチェックして、おいしいお店を探す読者が増えました。

紙面のカラー化

それまで2色刷りだったシティライフ紙面に、カラーページが登場したのは1987年8月。この頃から街のグルメ情報が増え、シティライフをチェックして、おいしいお店を探す読者が増えました。

紙面のカラー化

それまで2色刷りだったシティライフ紙面に、カラーページが登場したのは1987年8月。この頃から街のグルメ情報が増え、シティライフをチェックして、おいしいお店を探す読者が増えました。

紙面のカラー化

それまで2色刷りだったシティライフ紙面に、カラーページが登場したのは1987年8月。この頃から街のグルメ情報が増え、シティライフをチェックして、おいしいお店を探す読者が増えました。

紙面のカラー化

それまで2色刷りだったシティライフ紙面に、カラーページが登場したのは1987年8月。この頃から街のグルメ情報が増え、シティライフをチェックして、おいしいお店を探す読者が増えました。

紙面のカラー化

それまで2色刷りだったシティライフ紙面に、カラーページが登場したのは1987年8月。この頃から街のグルメ情報が増え、シティライフをチェックして、おいしいお店を探す読者が増えました。

紙面のカラー化

それまで2色刷りだったシティライフ紙面に、カラーページが登場したのは1987年8月。この頃から街のグルメ情報が増え、シティライフをチェックして、おいしいお店を探す読者が増えました。

紙面のカラー化

それまで2色刷りだったシティライフ紙面に、カラーページが登場したのは1987年8月。この頃から街のグルメ情報が増え、シティライフをチェックして、おいしいお店を探す読者が増えました。

さまざまなイベントも開催



阪神淡路大震災チャリティガレージセール「GAZA in 万博」(1995年) 1995年1月17日に起こった「阪神淡路大震災」。被災地復興の願いを込めて、同年4月2日に、ガレージセール、ミュージシャン・パフォーマーのステージで復興支援イベントを開催。来場者の募金、ガレージセールの出展料、大道芸の投げ銭、企業からの協賛金を被災地へ届けました。



チャリティキッズ in 万博(2011年) 東日本大震災発生後の8日後、2011年3月19日~21日の3日間、万博公園で支援金と救援物資を集めるためのイベントを日本万国博覧会記念機構(当時)主催、シティライフ共催で実施。多くの方のご協力で2,417,960円の支援金と100梱包の救援物資を被災地東北へ。



おやじバンドフェス(2005年~2015年) ホテル阪急エキスポパーク、ESAKA MUSEなどで10年に渡って開催。音楽好きのおやじ達が輝ける場として人気を集め、毎年恒例で訪れるファンもいっしょにやりました。

紙面のカラー化

それまで2色刷りだったシティライフ紙面に、カラーページが登場したのは1987年8月。この頃から街のグルメ情報が増え、シティライフをチェックして、おいしいお店を探す読者が増えました。

紙面のカラー化

それまで2色刷りだったシティライフ紙面に、カラーページが登場したのは1987年8月。この頃から街のグルメ情報が増え、シティライフをチェックして、おいしいお店を探す読者が増えました。

紙面のカラー化

それまで2色刷りだったシティライフ紙面に、カラーページが登場したのは1987年8月。この頃から街のグルメ情報が増え、シティライフをチェックして、おいしいお店を探す読者が増えました。

紙面のカラー化

それまで2色刷りだったシティライフ紙面に、カラーページが登場したのは1987年8月。この頃から街のグルメ情報が増え、シティライフをチェックして、おいしいお店を探す読者が増えました。

紙面のカラー化

それまで2色刷りだったシティライフ紙面に、カラーページが登場したのは1987年8月。この頃から街のグルメ情報が増え、シティライフをチェックして、おいしいお店を探す読者が増えました。

現在、そして未来にもつながる過去の情報を取材、編集し、記録する特集です。